

特発性器質化肺炎の再発における背景因子と治療方針に関する研究

2009 年から 2022 年までに日本医科大学多摩永山病院において、特発性器質化肺炎と診断された患者さま

研究協力をお願い

日本医科大学多摩永山病院呼吸器・腫瘍内科では「特発性器質化肺炎の再発における背景因子と治療方針に関する研究」という研究を行います。この研究は、2009 年 4 月 1 日より 2022 年 3 月 31 日までに当科にて、特発性器質化肺炎と診断を受けられた患者さまの再発における背景因子、および再発時の治療経過を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：特発性器質化肺炎の再発における背景因子と治療方針の検討

研究予定期間：倫理委員会承認日～2024 年 3 月 31 日

調査対象期間：2009 年 4 月 1 日～2022 年 03 月 31 日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 呼吸器・腫瘍内科 渥美 健一郎

(2) 研究の意義、目的について

特発性器質化肺炎の再発における背景因子、および再発時の治療経過を分析することにより、再発時のより良い治療方法を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2009 年 4 月 1 日より 2022 年 3 月 31 日までに日本医科大学多摩永山病院呼吸器・腫瘍内科にて、特発性器質化肺炎と診断を受けられた患者さまのステロイド治療後の再発状況を確認し、再発の有無における背景因子の違いと再発後の治療経過についての解析を行います。この研究は、患者さまの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、血液検査所見、画像検査所見、気管支肺胞洗浄液所見、経気管支肺生検の病理組織所見、ステロイド治療薬や再発時治療薬の経過など

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：呼吸器・腫瘍内科 渥美 健一郎

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山 1 丁目 7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302

メールアドレス：nagayama-chicken_center@nms.ac.jp